

令和7年度 第3回浜松市立図書館協議会 会議録

- 1 開催日時 令和8年2月16日(月) 14時00分から16時00分まで
- 2 開催場所 浜松市立中央図書館 大会議室
- 3 出席状況 委員：岡田 建志、清水 友理子、遠藤 浩子、井手 千恵子、
鶴見 俊輔、永田 浩介、原田 哲良、森田 智佳
- 事務局：
文化振興担当部長 嶋野聡、
中央図書館長 枝村賢美、
中央図書館館長補佐 齋藤慎悟、
図書館管理グループ長 宮崎真理、
図書館サービスグループ長 島野陽子、
調査支援グループ長 川崎智子、
資料・情報グループ 小澤龍彦副主幹、
天竜図書館長 笹竹由美子、春野図書館長 梶田和彦、
佐久間図書館長 奥山享司、水窪図書館長 宇井智洋、
龍山図書館長 鈴木忠、
中央図書館 森田ひとみ主任、北村麗風、加藤蓮斗
- 4 傍聴者 0人(一般：0人、記者：0人)
- 5 議事内容 (1) 令和7年度浜松市立図書館利用に関する
アンケート調査結果について(報告)
(2) 令和8年度図書館評価指標について
- その他
(1) 図書館ビジョン資料編の修正について
(2) 南陽図書館大規模改修工事について
- 6 会議録作成者 図書館管理グループ 北村麗風
- 7 記録の方法 発言者の要点記録
- 8 会議記録

- 1 開会
2 会長あいさつ
3 文化振興担当部長あいさつ
4 議題

(1) 令和7年度浜松市立図書館利用に関するアンケート調査結果について(報告)

宮崎図書館管理グループ長が説明

- ◆資料1 __ 令和7年度利用に関するアンケート調査結果(館内・Web)
- ◆資料1-2 __ 令和7年度利用に関するアンケート調査票(館内・Web)
- ◆資料1-3 __ 【参考】自由記載欄への記載のうち「成果」に分類されるもの(抜粋)

質問意見

岡田委員 資料1のP3は白紙ということで良いか。

宮崎G長 はい。P4・5が見開きで見やすいように白紙にしている。

(2) 令和8年度図書館評価指標について

宮崎図書館管理グループ長が説明

- ◆資料2 __ 図書館評価について
- ◆資料3 __ 図書館評価の方法について
- ◆資料4 __ 令和8年度浜松市立図書館評価指標(案)
- ◆資料5 __ 浜松市立図書館評価(令和6年度)(参考)

井手委員 「いかす」の主要事業にある「多様なニーズに対応した環境づくり」について。「あかちゃんタイム」を行っている館は何館あるのか知りたい。

宮崎G長 浜松市立図書館24館中、10館で行っている。

井手委員 もっと広げていくということか。

島野G長 新年度に向けて、他の館にも事業の参加を呼びかけたいと考えている。

岡田委員 「つながる」について。

指標2(「はままつ電子図書」行政資料の閲覧数)と、指標4(自治体、企業、各種団体等と連携して実施した事業の件数)において、令和8年度の目標設定の根拠が令和7年度実績見込みの維持となっている。

令和6年度から令和7年度にかけ、この2つの項目は他と比べて増加率が高い。その高い数値を維持しようとするのは良いが、令和6年度から7年度にかけて、これほど増加率が高かったことの要因によっては、この高い数値を維持するということが難しい可能性もあるが、要因についてどう考えているか知りたい。

宮崎G長 指標2の「はままつ電子図書」行政資料の閲覧数については、浜松市役所の様々な課が提供している媒体を見てもらうことになるが、”どうする家康”などの話題性が高いものだと閲覧数が増加する。よって、図書館として閲覧数を増やす努力をしにくい項目ではあると感じてはいるが、令和7年度の数値の維持を目標とした。

- 島野 G 長 指標4については、この数年、高齢者福祉課と連携し認知症の講座を行ったり、健康増進課と連携して健康についてのPRをしたりなど、庁内の他課との連携が増えているという実感がある。指定管理者が地域の企業とコラボして事業を行うことも増えており、市内図書館全体として、連携していこうという動きは増えている。
ただ、統計の取り方と、「連携」とする基準が館ごとに異なっている可能性がある。各館から連携したと報告されたものを数えているため、令和7年度の数値を維持できるようにということで目標を設定した。
- 岡田 委 員 現状を維持できるならばいいが、減ってしまうと次回の図書館評価が低い評価になってしまうと思う。前委員の三宅委員も協議会で発言したことがあるように、目標が高すぎるのではという不安を少し感じたため、私も発言させていただいた。
- 原田 委 員 「いかす」について。
指標2の「市民1人当たりの貸出冊・点数」のR7が5.02の見込みとなっており、R8は5.01と目標を立てているが、少し下がっている理由を知りたい。目標を下げてしまうと、この先も下がっていつてしまうと思うので、工夫して上げていく方向で考えてほしい。
電子図書という方法もあるが、できるだけ市民に借りてもらおうようにどのような考えがあるのか知りたい。
- 宮崎 G 長 貸出冊・点数は、市内24館の館長に、貸出冊・点数の目標を立ててもらい、そこから浜松市の人口で割って集計しているため、各館が目標を高く持てるよう、今いただいたご意見を伝えるとともに、声掛けをしていこうと思う。
- 枝村 館 長 現状として、貸出は減少している。一方、母数が違うので比べるのは難しいが、電子図書の貸出数は増加している。書籍と、電子図書を合わせた貸し出し数が減少していなければある程度良いのではと考えている。
ただし、全体の貸し出し冊数は、過去数年で見ると右肩下がりではあるので、下がっていくのは止めなければならないと考えている。
- 原田 委 員 集計結果を見ると、若い世代が良い評価をしているため、今後数値が上がるのを期待している。
- 森田 委 員 「はぐくむ」について。
指標2の学校図書館への資料貸出に関連して、学校の授業でタブレットを使う機会が増えたが、支援パックや書籍に関する、教員からの要望や利用状況に変化があるか知りたい。
- 島野 G 長 コロナ禍に支援パックの貸出が伸びたが、図書以外で学ぶ機会が増えた今、支援パックの貸出は減っている。一方で、業務支援カードで教員自身が本を借りる機会は増えている。
今年度の指導主事からは、三学期は支援パックの貸出は少ないと聞いている。2学期までに研究授業等でよく使用されることが要因として考えられる。
- 森田 委 員 アンケート結果を見ると、デジタルアーカイブは小学生以下の子どもはあまり利用していないような数値となっていたが、デジタルアーカイブの利用も増えたら良いとも思う。
- 島野 G 長 学校の先生方に、デジタルアーカイブについての説明を行ったことがあり、反応が良く興味を持っていただけたと聞いているため、利用の増加を期待している。
- 川崎 G 長 学校のタブレットにもリンクを貼っており、利用しやすいような取り組みをしている。
- 岡田 委 員 そのほか質問がないようなので、令和8年度図書館評価指標について原案のとおり確定する。

9 会議録署名人 岡田 建志 会長

鶴見 俊輔 委員

令和8年2月16日に開催された浜松市立図書館協議会の議事録の要点について、上記のとおり間違いがないことを確認した。

令和 8 年 4 月 13 日

署名 岡田 建志

署名 鶴見 俊輔